

2017.3.28 コミュニティ会議との協議



# 花巻市地域づくり 10年目のステップアップへ向けて



花巻市コミュニティアドバイザー  
役重 眞喜子

# 10年目、見えてきた課題

- ① やらされ感・負担感
- ② 住民理解・参画の遅れ
- ③ 行政のサポート、連携不足

**担い手の不足、一部の負担感…81%**

**住民理解と参画の遅れ…60%**

**行政との役割の分担・調整…36%**

(2015年自治会長等アンケート結果より)



# 見直しへ向けた作業

- 4モデル地区のワークショップ
- ファシリテーター育成
- 庁内検討（専門家の助言）

# WS結果から

1. 対話の手法の有効性と限界  
「気づき」…そして次へ
2. 「人」「意欲」を拾えていない  
“役のついた人”の集まりでは限界？
3. 地域性の違い  
きめ細かな支援が不可欠

★「人」「意欲」をどう拾うか  
→『地域づくりって何だろう?』

1 「住民**総意**」

みんなが合意して  
やるべきこと

行政

コミュニ  
ティ?

地域

2 「住民**創意**」

意欲ある人がどんど  
ん進めていいこと

みんなの合意は難しいし…  
一部の人だけにお金使えないし…

# 豊田市の地域自治システムの例

**住民総意**  
**地域予算提案制度**  
・小補修、支障木  
・防災備品  
★区長会、アンケート

**住民創意**  
**わくわく事業**  
・意欲ある住民グループを支援  
★地域会議の審査

地域会議

行政が  
執行

2000万円/自治区

住民自ら  
実施

500万円/自治区

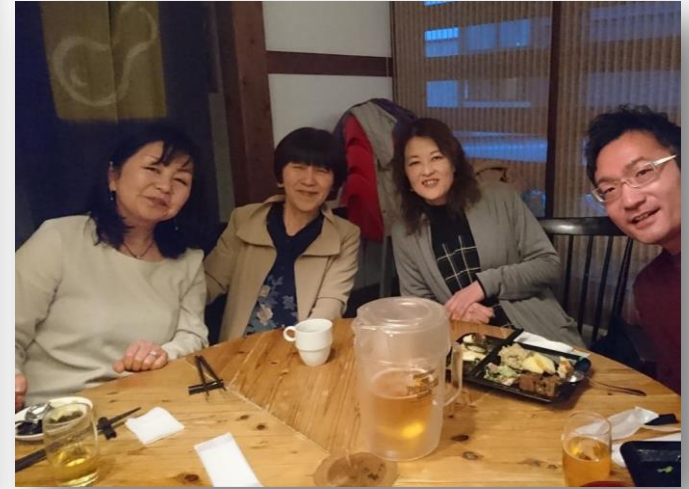
旧町部 = 旧町単位  
旧市部 = 学区単位



# 豊田市足助町シャングリラ

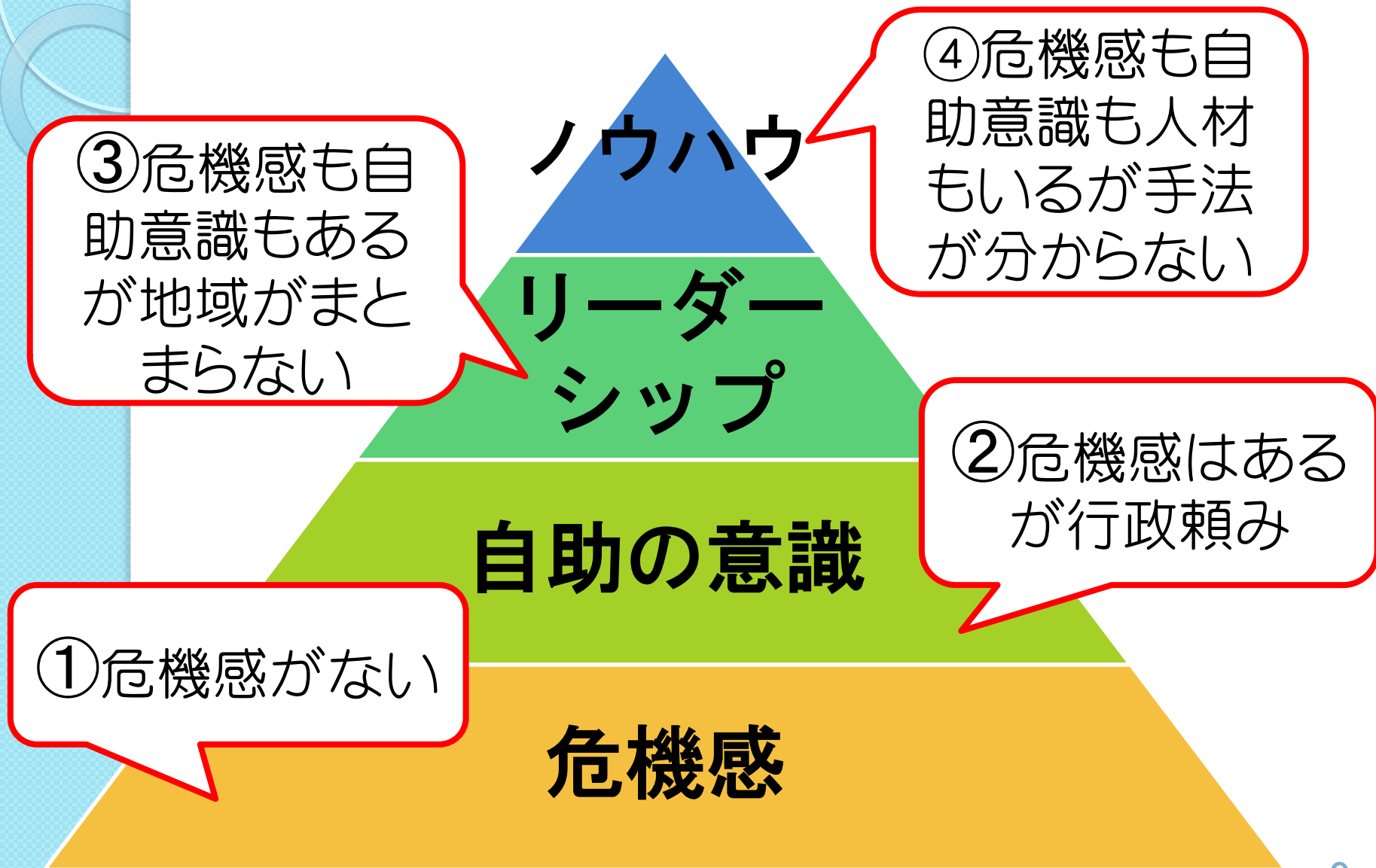


# 豊田市足助町シャングリラ

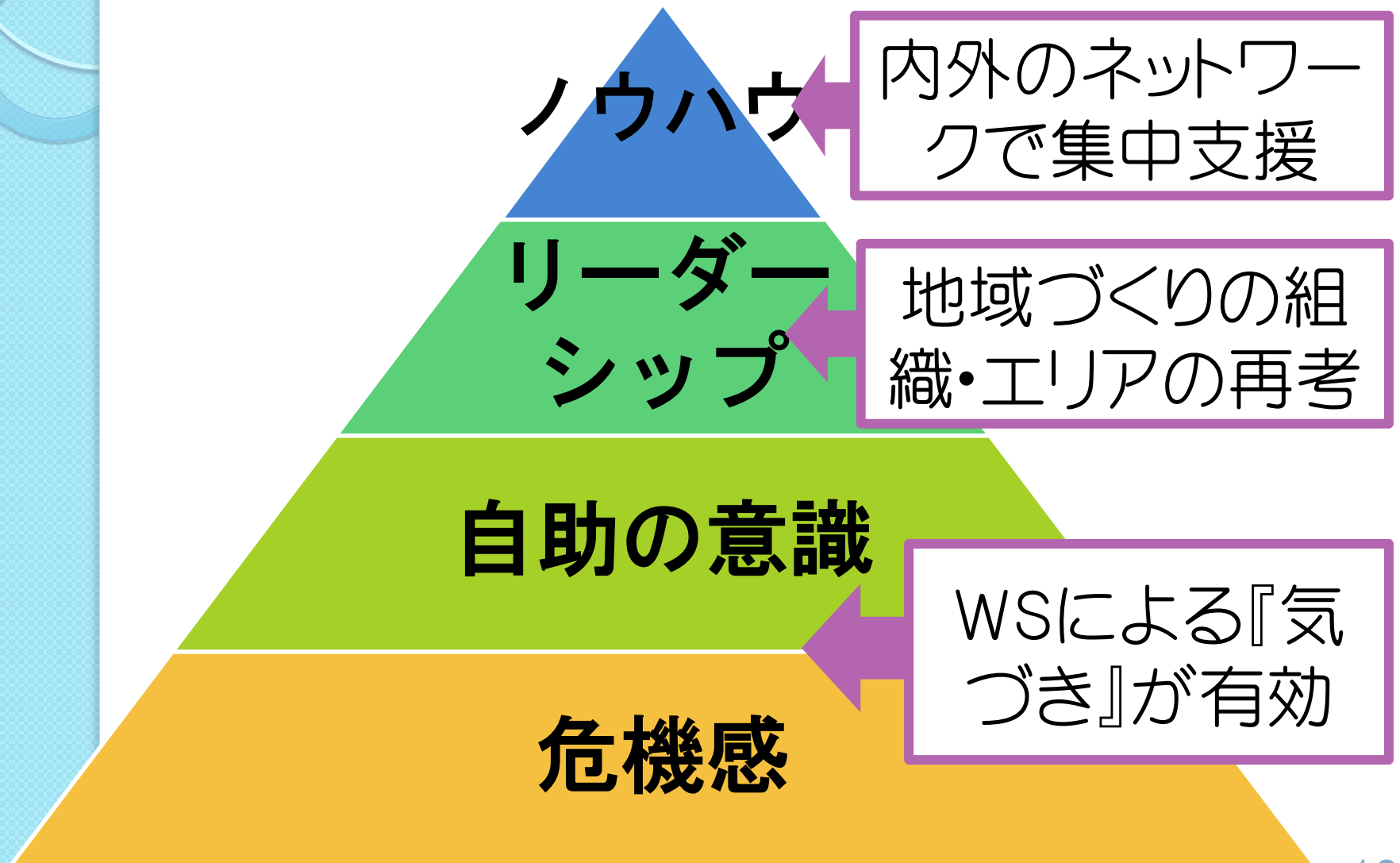




# ★地域の置かれた状況



# きめ細かな支援が必要



# 来年度へ向けて

## 1. 人づくり

WS、人材育成で掘り起こし  
意欲を「拾える」しくみづくり

## 2. 縁づくり

行政が「出会い」をつなぎ支援  
のネットワークを作る

## 3. 場づくり

広く、オープンに関係者の話し合  
いの場を設けていく

ご清聴ありがとうございました

